

モノを中心とした図書展示

実施日 令和6年6月

対象 小学校1年～6年

目的・ねらい

- 児童・教員が、いろいろな分類に野球に関する資料があることを知る。
- 関連する「モノ」を資料と一緒に展示することで、児童・教員に図書展示への興味を持たせる。

学校図書館活用のポイント

- プロ野球選手の大谷翔平さんが小学校に寄贈したグローブ、通称「大谷のグローブ」と一緒に資料を展示する。
- 野球に関する資料をスポーツの分類以外からも幅広く集める。

必要なもの

- 大谷のグローブ
- 野球に関する資料

参考文献

- 『キラキラ読書クラブ :改訂新版 -子どもの本 702 冊ガイド-』玉川大学出版部,2014年,ISBN 9784472404986
- 『子どもの本のリスト -「こどもとしょかん」新刊あんない 1990～2001 セレクション-』東京子ども図書館,2004年,ISBN 9784885691812
- 『テーマ・ジャンルからさがす物語・お話・乳幼児絵本』シリーズ DB ジャパン
- 『物語の森へ(児童図書館基本蔵書目録 2)』東京子ども図書館,2017年,ISBN 9784885692000
- 『知識の海へ(児童図書館基本蔵書目録 3)』東京子ども図書館,2022年,ISBN 9784885692017

当日までに行うこと

- 野球に関する資料(所蔵している本、新聞記事など)をあらかじめ集めておく。
- 「大谷のグローブ」を学校図書館で展示してよいか学校管理職に許可を取り、現物を準備する。

実践内容	物品	留意点
〈提案〉 5月 学校司書が図書主任に図書展示の提案をした。		
〈相談〉 5月 学校司書が学校管理職に「大谷のグローブ」を学校図書館で展示してよいか及び以下の内容を相談した。 ● 学校司書が長時間学校図書館を離れるときは、施錠する。		

<ul style="list-style-type: none"> ● 学校司書がない土～月は、「大谷のグローブ」を職員室に戻す。 ● 児童は展示中の「大谷のグローブ」に触れてよいことにする。 		
<p>〈準備〉</p> <p>5月</p> <p>学校司書がいろいろな分類の棚を見て、野球に関する(野球が出てくるものを含む)資料を集めた。</p> <p>学校司書が資料を探すための調査をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 件名索引のあるブックガイドで野球の項目を見た(別紙図書リスト参照) ● インターネットで「野球 本 子ども」等を検索した ● 大阪市立図書館 HP の蔵書検索で、「資料の利用対象 児童書(J)」、「全項目」や「件名」に野球と入れて検索した 		
<p>〈実践〉</p> <p>6月</p> <p>学校司書が展示タイトルを児童と考え、展示を実施した。</p> 		
<p>〈結果／児童生徒・教職員の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 児童が「大谷のグローブ」に気づくと、嬉しそうに手に取っていた。 ● 児童が展示されている資料にも興味を持ち、手に取っていた。 ● 展示している資料の貸出が増加した。 ● 教員が「ここにグローブが」と反応して、展示資料も見ていた。 ● 学校司書に「先生、野球好き？」という声掛けが多く、児童とのコミュニケーションが広がった。 		